



【発表会】「スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会」へ参加してきました

8月5日(水)、6日(木)に神戸国際展示場にて開催された「令和8年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会」に本校の代表として「中高生における空気力学研究の活性化に向けた小型風洞システムの開発」の研究班(理数科3年生)が参加しました。

本発表会は、日本全国のSSH校が全校揃う、大規模な成果発表会です。5つのジャンルに分かれて計239本の研究発表が行われました。

本校のブースにはポスターセッション開始直後から多くの生徒・先生方が、発表を聞きに来ていただきました。生徒たちが創意工夫を重ねて製作してきた小型風洞装置にもたくさんの学校から本校でも使用したいとお話をいただき、日本中で本校の小型風洞装置が誰かの探究心を支える一助になれば幸いです。



【研究室訪問】茨城大学理学にて「サイエンスラボ」を実施しました

8月20日(木)に茨城大学理学部(水戸キャンパス)にて、理数科2年生を対象に「サイエンスラボ」を実施しました。高校の実験室には無い機器等を操作したり、大学で学ぶ内容を体験できる貴重な機会となりました。今回実施された分野と内容を右記の通りです。

当日のとりまとめをしてくださった、本校SSH運営指導委員長でもある、田内広教授から、最後の講評で「サイエンスすること、そして学ぶことは“楽しい”と今日感じてもらったなら嬉しいです。今後の皆さんの研究活動も“楽しみ”ながら自らの問いについて探究できることを願っています。」という励ましの言葉もいただきました。

数学・情報数理分野：「整数の問題に挑戦」
物理分野：「宇宙からやってくる電磁波を分光しよう」
化学分野：「発光する分子を作る_化学発光」
生物分野：「遺伝子破壊システムの観察」
地学分野：「建物の高さをいろいろな方法で計ってみよう」



【異校種交流×STEAM】水戸聾学校との3Dプリンタを用いた協働学習会を開始しました

7月23日(木)から計3日間のプログラムとして、今年も「水戸聾学校との3Dプリンタを用いた協働学習会」を開始しました。本校も聾学校も3Dプリンタを有していることから、何か協働的な学びの機会を創出できないかというきっかけからスタートし、今年で5年目を迎えました。

昨年度から製作物のテーマを“聾学校幼小部の子どもたちが遊んで学べるモノ”として生徒たちのアイデアを形にする支援を行っています。今年度は「クリスマスを知る」をテーマとし、可動式の遊んで飾れるクリスマスツリーを完成させるべく、各校で担当するパーツを話し合いを重ねながら製作しています。

理数科3年生に3Dプリンタの使い方の指導を受けながら、自分たちで設計、製造できるところまで成長しました。

現在、お互いに試作品ができあがり、各パーツの精度の検証と再設計を行っています。9月末に最終報告会をもって完成となります。次号のSSH通信にて続きは披露します。

